

報道関係者各位

平成 27 年 11 月 5 日  
福岡市博物館

## 平成 27 年 11 月 8 日 (日) 13:30～ シンポジウム「金印論争終結！？」を、 福岡市博物館にて開催します。

事前の市民の皆様への周知、また、当日のご取材をたまわりますよう、お願いいたします。なお、奴国から伊都国へ駆け抜ける「福岡マラソン」車いす競技・ファンランのフィニッシュ地点となる博物館では、当日の常設展観覧料を無料にしますので、併せて周知いただきますようお願いいたします。

### 開催概要

- (1) 名称：シンポジウム「金印論争終結！？」
- (2) 日時：平成 27 年 11 月 8 日 (日) 13:30～
- (3) 会場：福岡市博物館 (〒814-0001 早良区百道浜 3-1-1) 講堂 (1F)  
事前申込み不要 当日 12 時から整理券配布

### (4) プログラム：

司会	有馬 学 (福岡市博物館長)
基調講演	「金印論争終結宣言 一複眼的資料論から一」 石川日出志氏 (明治大学教授)
報告 1	「金印の発見と江戸時代の論争」 宮野弘樹 (博物館学芸員)
報告 2	「挑戦！金印スイーツ」 本田浩二郎 (博物館主任文化財主事)
*****	
ディスカッション	コーディネーター 大塚紀宜 (文化財部埋蔵文化財審査課管理係長)



- (5) 趣 旨：福岡を代表する国宝 金印「漢委奴国王」。現在は、福岡市博物館開館 25 周年特別展「新・奴国展 一ふくおか創世記一」に出品中です (～12 月 13 日)。

志賀島で発見されたとされる金印は謎が多く、江戸時代の発見以来、多くの論争が繰り返されてきました。近年は「偽造説」にも関心が寄せられていました。いっぽうで、昨年秋に、東京国立博物館にて公開されたさいには、金印を一目みようとする人が長蛇の列をつくるなど、その人気は衰えを知りません。

福岡市博物館は、開館 25 周年をむかえ、あらためて金印の魅力にせまるシンポジウムを開催します。金印にまつわる様々な論争の火種を整理し、最新の知見を紹介します。

- (6) 背景：このシンポジウムは、「博多湾岸《金印ロード》プロジェクト事業」の一環です。プロジェクトは、福岡市博物館が、金印発見の地・志賀島&金印のあるまち・シーサイドももちの 2 つの地域コミュニティとともに、さまざまな人と力をあわせ、博多湾岸の歴史資源の魅力を発掘・発信していくことを目的としています。国 (文化庁) の「平成 27 年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」採択事業です。

### ■事業担当者 (お問い合わせ先)

福岡市博物館 学芸課 杉山、本田 / 管理課 岩佐  
電話 092-845-5011 / 090-7927-3211 FAX 845-5019

# 奴国（なこく）・伊都国（いとこく）とは？

奴国と伊都国は、今から約2000年前に福岡市を中心とする一帯に存在していた弥生時代の「クニ」であり、中国の歴史書にたびたび登場します。福岡市博物館に展示されている国宝金印「漢委奴国王」は、後漢の光武帝から奴国王へと賜られたもので、国際社会に認められた証でもありました。伊都国には、平原遺跡や三雲南小路遺跡をはじめとする「王墓」が存在しており、その出土品は国際性に富む内容でした。国際交流の窓口は奴国から伊都国へと時代とともに移り変わっていきます。

# 奴国から伊都国へと駆け抜ける！！

## 福岡マラソン コースマップ



伊都国

奴国

福岡市博物館開館25周年記念特別展・対外交流史VI

平成27年 10月17日[土]～12月13日[日]

新・奴国展

●開館時間：午前9時30分～午後5時30分（入館は午後5時まで）  
 ●月曜日休館 11月23日[月・祝]は開館、翌24日[火]休館。  
 【観覧料】一般1,200円(1,000円) 高大生800円(600円)

— ふくおか創世記 —

制作：新・奴国展実行委員会 福岡マラソン実行委員会

